

No.231 2002.3

東京大学低温センター 低温センター・ニュース

<http://www.crc.u-tokyo.ac.jp> TEL. 22851,22852(事務室), 22853(技官室)

○平成14年度の保安検査について

高圧ガス保安法に基づく定期保安検査が4月10日(水)に行われます。これに伴う液体ヘリウムの供給停止は下記のようになっています。

なお、ヘリウムガス回収については設備の気密検査中に一時停止がありますが詳細については技官室にお問い合わせください。

○液体ヘリウム供給停止日のお知らせ

4月、5月の供給停止日は以下のとおりです。間違いのないようにお申し込みください。

4月 3日(水) 4月10日(水)
5月15日(水) 5月24日(金)

ただし、液体ヘリウム供給停止日もヘリウム容器の回収及び液体窒素の供給は通常どおり行います。

○液体窒素容器を購入するときのお願い

最近、自動加圧型液体窒素容器(自加圧型容器とも呼ばれている)を購入する研究室が増えているようですが、メーカーによっては、センターでの供給が困難な構造になっている容器もあります。容器を購入する際は、事前に低温センター技官室にご相談ください。

なお、センターで配達できる容器は、液体窒素の利用内規により内容積50L以下の容器に限られます。

○ヘリウムガス回収率

平成14年 1月分

(単位は全て立法部)

	1/4 在庫	2/1在庫	供給量	回収量	損失量	回収率(%)
理サブ	384.9	583.5	1464.4	1342.2	-76.4	106.0
工サブ	938.4	1372.9	4964.4	3813.7	716.1	84.2
生化NMR	116.2	116.8	63.0	36.6	25.8	58.6
農学NMR	65.9	79.1	66.5	47.0	6.4	88.1
総合試験所	112.5	274.1	953.4	560.6	231.2	70.8
合計	1617.9	2426.4	7511.7	5800.1	903.1	86.5
特別価格	-	-	132.3	-	132.3	-
備考	$\text{回収率} = \frac{\text{回収量}}{(\text{供給量} + 1/4\text{在庫}) - (2/1\text{在庫})}$ 回収ガスは純度100%として、回収率を計算					

平成14年 2月分

(単位は全て立法㊦)

	2/1 在庫	3/1在庫	供給量	回収量	損失量	回収率(%)
理サブ	583.5	436.6	1822.8	1616.1	353.6	82.0
工サブ	1372.9	1160.8	3832.5	3307.3	737.3	81.8
生化NMR	116.8	115.4	0.0	17.2	-15.8	-
農学NMR	79.1	52.5	0.0	23.7	2.9	89.8
総合試験所	274.1	177.9	515.9	493.2	119.0	80.6
合計	2426.4	1943.1	6171.2	5457.5	1196.8	82.0
特別価格	-	-	35.7	-	35.7	-
備 考	<p style="text-align: center;">回 収 量</p> $\text{回収率} = \frac{\text{回収量}}{(\text{供給量} + 2/1\text{在庫}) - (3/1\text{在庫})}$ <p style="text-align: center;">回収ガスは純度100%として、回収率を計算</p>					